

「しあわせ大国つやま」の実現に向けて

本市は、和銅6年（713年）に美作の国が誕生して以来、岡山県北の中心都市として、着実な発展を遂げてきました。

今日、本格的な少子高齢化時代を迎え、経済活動のグローバル化や地方分権の進展など時代の大きな変革期を迎えています。

こうした中、活力ある新生津山のまちづくりに向けて、～しあわせ大国 つやま～《津山市第4次総合計画》を策定しました。



この計画は、すべての市民に「しあわせ」を実感してもらうために、まちづくりに積極果敢に挑戦する内容としました。

新たに「しあわせづくり指標」の数値目標を設定し、市民にわかりやすく「いつまでに、何を行うか」を明らかにしました。

国・地方とも、深刻な財政状況に直面していますが、「しあわせ大国 つやま」をめざして、徹底的に攻めの行財政改革に取り組み、計画の着実な推進にあたります。

今後、より一層、市民との協働を進めながら、多様な主体とともに地域課題を解決していきたいと思いますので、ご理解、ご協力、ご参画をお願い申し上げます。

最後に、「津山市総合計画審議会」の委員をはじめ、懇談会などを通して貴重なご意見、ご提言をいただきました市民のみなさま方に心からお礼申し上げます。

平成18年9月

津山市長 桑 山 博 之